

## 令和4年度一般会計

補正総額 1億4774万円



福祉灯油券

8月9日に令和4年第4回町議会臨時会が開催されました。一般会計補正予算第2号(専決)と第3号が提案され、第2号は全会一致で、第3号は賛成多数で、いずれも承認可決しました。

## 専決

## 一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ1億3916万円を追加して歳入歳出予算の総額を82億1609万円とするものです。

【歳入】

歳入歳出の予算総額にそれぞれ858万円を追加して予算総額を82億2466万円とするものです。

【歳出】

社会福祉費として9480

## 一般会計補正予算(第3号)

万円。土日祝日の受付や窓口

ナウイルスワクチン接種時などを利用しての申請受付職員の使用・手当や運営備品などで、114万円です。

## 反対討論

渡辺 正男

国が進めるデジタル改革は、行政保有のデータを企業に開放し「儲けのタネ」とするためのもの。行政が保有する個人情報、企業が保有する顧客情報とは比べ物にならない多岐にわたる膨大な情報量。国民の所得・資産・社会保障給付状況を監視し、国民への徴税強化・給付削減を押しつけるマイナンバー制度は、廃止すべき。

取得促進をはかるための補正予算です。

郵便局での平日の申請受付事務費用や民間事業者への申請受付委託費用として728

| 順位 | 区分    | 人口<br>[R4.1.1時点] | 交付枚数<br>[R4.9末時点] | 交付枚数率<br>[枚数÷人口] |
|----|-------|------------------|-------------------|------------------|
|    | 全国    | 125,927,902      | 61,657,397        | 49.0%            |
| 42 | 長野県   | 2,056,970        | 883,438           | 42.9%            |
| 68 | 栄村    | 1,692            | 625               | 36.9%            |
| 16 | 野沢温泉村 | 3,454            | 1,727             | 50.0%            |
| 34 | 木島平村  | 4,508            | 2,001             | 44.4%            |
| 75 | 山ノ内町  | 11,680           | 3,929             | 33.6%            |
| 76 | 小布施町  | 11,020           | 3,650             | 33.1%            |
| 65 | 高山村   | 6,720            | 2,545             | 37.9%            |
| 41 | 飯山市   | 20,059           | 8,612             | 42.9%            |
| 62 | 中野市   | 43,477           | 17,316            | 39.8%            |

マイナンバーカード交付状況  
(総務省ホームページより)

第131号  
令和4年10月25日  
(2022)  
発行 山ノ内町議会  
責任者 議長 高山 祐一  
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡  
山ノ内町大字平穏3352-1  
☎0269-33-1101  
E-mail  
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページと  
議会フェイスブックは  
町ホームページからアクセス



## もくじ

|                |    |
|----------------|----|
| 令和4年第4回臨時会関連記事 | 18 |
| 令和4年第5回定例会関連記事 | 19 |
| 一般質問           | 20 |
| 決算審査           | 28 |
| 監査委員審査意見       | 30 |
| 追跡！審査意見その後     | 31 |
| 陳情・発委・議会全員協議会  | 32 |
| みんなのひろば・編集後記   | 33 |

## 地方交付税 2億2761万円の増額

### 令和4年度一般会計補正予算

令和4年第5回山ノ内町議会定例会は、9月1日から22日まで開催されました。4年度補正予算5件、条例の制定2件、3年度決算の認定8件、人事案件1件などが提案され、すべて原案どおり可決・認定・同意しました。

### 一般会計補正予算（第4号）

#### おもてなし得得クーポンに4254万円

歳入歳出それぞれ1億367万円を追加して、歳入歳出予算総額を83億6136万円とするものです。地域経済の活性化をはかるために町内の飲食店・小売店などで使える「おもてなし得得クーポン券」（額面2000円）を宿泊客対象に500円で販売する事業負担金 650万円

#### 【歳入】

地方交付税

2億2761万円

新型コロナウイルス接種事業

業負担金 650万円

### 和解及び損害賠償額の決定

水路側溝の漏水が、隣接するコンクリート駐車場を洗掘し、亀裂や沈下が生じたので復旧賠償するものです（賠償額469万円）。

### 水道事業会計未処分利益

#### 剰余金の処分について

3年度水道事業会計未処分利益剰余金1億359万円のうち、3535万円を資本金に組み入れるものです。

#### 基金繰入金

△1億505万円

#### 【歳出】

小型除雪機械購入補助金

150万円

道路橋梁費

2235万円

新型コロナウイルス接種

1000万円

社会体育館解体工事（アスベスト処理ほか）

1000万円

有害獣駆除電気柵設置補助

55万円

1121万円

おもてなし得得クーポン券

4254万円

情報物産館改修（空調改修・LED化）

311万円

佐野遺跡再整理

55万円

### 報告

#### 令和3年度 総合開発公社事業及び決算 セミセルフレジを導入

楓の湯・道の駅は「信州の安心な店」の認証を取得して通年営業しました。楓の湯は、足湯や露天風呂の改修工事、道の駅では照明のLED化や農産物直売所のセミセルフレジが導入されました。売り上げは、30年度比で楓の湯74%、道の駅では87%まで回復しました。



セミセルフレジ（奥の2台）

### 条例の制定

#### 法人町民税の法人税割を軽減

法人町民税の法人税割を制限税率上限の8・4%から標準税率の6%に引き下げるものです。近隣市町村の動向や対象事業者の負担軽減要望の声

### 税条例の一部を改正

を勘案しての改正です。これによる町の減収は約600万円になりますが、その75%は地方交付税の算定で措置されます。

### 第16回 議会報告会開催のお知らせ

令和4年度山ノ内町議会報告会は、11月中の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来年1月発行の議会だより（第132号）誌上で開催することとしました。議会報告会は、広く町民の皆さまに議

会活動を知っていただき、ご意見・ご要望をお聞かし、今後の議会活動に反映させていくことを目標としています。

現在、誌上開催に向けての準備をすすめています。皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

### 人事案件

#### 教育委員会委員の任命

山本 均（73歳 佐野）任期 令和4年10月9日まで  
令和8年10月8日まで

# ズバリここが知りたい

論戦

## 新型コロナウイルス感染症対応、産業振興、地域公共交通対策など

9月5日、6日の2日間にわたり行われ、登壇議員は7人、傍聴者は延べ16人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

※感染症拡大防止のため、議員・答弁者・傍聴人全員がマスクの着用・手洗い等を行い、議場内は演壇と質問席に仕切り板を設置し、開催しました。休憩時には換気を行い、傍聴人数も15人までとさせていただきます。ご理解ご協力いただきありがとうございました。

|   |                                                                                              |                                                                                                                                                   |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | <br>湯本 りり子  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣問題について</li> <li>・箱山トンネルの照明改善について</li> <li>・中部電力の送電線鉄塔建て替え工事について</li> </ul>                            |
| ② | <br>山本 光俊  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境施策について</li> <li>・観光施策について</li> <li>・DX推進について</li> </ul>                                                 |
| ③ | <br>渡辺 正男 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町および教育委員会の名義使用許可の手続きについて</li> <li>・中野市・山ノ内町地域公共交通対策協議会の進捗状況は</li> </ul>                                   |
| ④ | <br>白鳥 金次 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの進捗について</li> <li>・野生鳥獣被害防止対策について</li> </ul>                                                   |
| ⑤ | <br>徳竹 栄子 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の今後について</li> <li>・コロナ第7波による経済への影響について</li> <li>・ユニバーサルツーリズムの推進について</li> <li>・がんの早期発見のために</li> </ul> |
| ⑥ | <br>湯本 晴彦 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に歯止めをかけるために</li> </ul>                                                                                |
| ⑦ | <br>塚田 一男 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブについて</li> <li>・中学校の部活動について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策について</li> <li>・消防団について</li> </ul>          |



# 中電送電線鉄塔建て替え工事の町対応は

建設水道課長—各種申請手続きが完了し工事实施中

**【質問】** 町道・農道に鉄板を敷いたり盛土したりしている。農道の管理は、受益者がやるのか。

**農林課長** 基本的に、受益者管理が原則だ。

**【質問】** 工事に拡張された町道が、元に戻らないようにすることはできないか。

**建設水道課長** 道路占用許可申請に基づいて審査し許可している。地元において合意形成がはかられ、具体的に事務手続等の条件が整えば、町としても事業が進められるのではない。

**【質問】** 長野電燈株式会社が八ヶ郷水利組合から水利利用の承認を受けたのは大正9年7月、和合会が借地・水利の契約を締結したのが14年9月、15年12月に第一・第二発電所が運転を開始した。と八ヶ郷水利組合史に

書いてある。送電線鉄塔もそのころできたのではないか。

**農林課長** 送電を行っていた平穂北信線は、大正12年に建設され、99年になる。

**【質問】** 大正時代末期に、今も稼働している水力発電施設をつくった。大企業だったと思う。自然再生可能エネルギーの一番の利用だ。そうした過去の人々の気概

や努力を私たちも学ばなければいけないと思うが。

**【町長】** 歴史を踏まえながら、今日の再生可能エネルギーの充実、町の発展につめていきたい。

**【質問】** 脱炭素社会の実現は私たち一人ひとりの決意と行動にかかっている。地域にある再生可能エネルギーを開発利用することも大切だと思っている。見解を。

**【質問】** 具体的取り組みは。

**【町長】** 国・県と歩調を合わせながら、町には独自の新エネルギービジョンがあるので、進めていきたい。

## 箱山トンネルの照明改善を

**【質問】** 日本共産党の気候危機打開の2030戦略では、2050年CO<sub>2</sub>排出ゼロを表明した自治体は、40都道府県、268市、10特別区、126町村に上る。自治体の役割発揮が求められる。町公共施設へのソーラーパネル設置は。

**【質問】** 高齢者ドライバーも多く、暗順応時間は年齢とともに長くなる。過去に死亡事故もあった。町側入口は改善していただきたい。

**【総務課長】** ほなみ保育園のみ。

**【建設水道課長】** 中野市と共同管理。電気代等は延長按分。5月要望を受け、7月中旬入口の照明を各一基増設し対応した。



ゆもとこ  
湯本るり子

※暗順応：明るいところから急に暗いところへ入ると初めのうち物がよく見えないうちが、時間の経過とともに徐々に見えるようになること。



中部電力鉄塔建て替え工事現場

10月からの食料品の値上がりで「火のくるま」ロシアは未だ軍事侵攻をやめない。核兵器の使用もちらつかせながら…

湯本るり子のつぶやき



# カーボンニュートラル推進の考えは



やまもと みつとし  
山本 光俊

※1 ゼロカーボンシティ宣言：環境省では、「2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨とする地方自治体」をゼロカーボンシティと定義しています。環境省は2021年度からゼロカーボンシティへの支援を強化する旨を発表しています。

※2 グリーンライフポイント：環境配慮製品の購入やサービスの選択など消費者の行動に対し、企業などが発行する環境配慮ポイントの総称。ポイント還元を通じて消費者のエコな行動を「見える化」することで国民の行動を変え、環境省では企業や地域などに対し、ポイントを発行するために必要な企画や開発などの費用を補助する推進事業を行っています。

今紅葉が本当にきれいです。豊かな自然を自己都合で破壊する人、それを付度する人にSDGsを語る資格なし

山本光俊のつぶやき

町長―気候異常事態宣言に沿って取り組んでいる

## ※1 ゼロカーボン シティ宣言を

【質問】 国は2050年までに温室効果ガスの排出を実

質ゼロにするカーボンニュートラルを目指している。

町も県による気候非常事態宣言に賛同しているがいつ

計画や予算に盛り込むのか。

健康福祉課長 令和5年度以降の町役場地球温暖化実行計画を策定し、できることから取り組んでいく。

【質問】 町内の方や企業などの協力も必要になる。町内

の方はどの程度カーボンニュートラルについて認知さ

れていると考えているか。

健康福祉課長

周知度はわ

かりかねるが、ごみの減量化などを通じて環境負荷を

少なくする取り組みをお願いしている。

【質問】 環境省によるとゼロ

カーボンシティを宣言した

都道府県、市町村は令和4

年7月29日現在で758自治

体まで増えている。今後

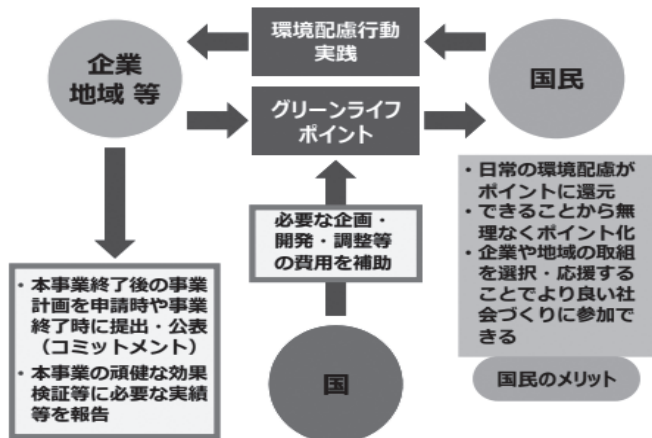
さらに周知をはかり意識を

高めるために当町も宣言す

ることが有効だと思うが。

健康福祉課長 全国的に増えていることは認識している。近隣市町村などの状況を踏まえ検討していく。

## 事業イメージ



※ グリーンライフポイントの対象：ゼロカーボンアクション30等の省CO2、食の地産地消、サーキュラーエコノミー等のライフスタイルに関連するあらゆる環境配慮行動

環境省グリーンライフポイント事業ホームページ  
<https://www.env.go.jp/content/900470628.pdf>より

増え、また今後新たな制度も検討されている。環境省では今年度よりグリーンラ

イフポイント事業を創設し事業総額101億円の予算を組んでいる。町でも企画

を検討していただきたい。

健康福祉課長 町として取

り組めるか調べていく。

## 急速充電器の 活用状況は

【質問】 年間の利用件数および

利用の多い月は。

総務課長

令和3年度は755回の利用があり、利用

の多い月は10月110回、

続いて1月77回、12月74回

となっている。

【質問】 自動車メーカーは脱

炭素化の取り組みとしてク

リーンエンジンへのシフト

を推進している。今後さら

にEV車の利用が増えると思

うが情勢把握はいかがか。

【質問】 今後、観光客の増加

EV車市場拡大で需要増が

見込まれる。急速充電器の

増設は急務だと思うが。

総務課長 県では2030

年までに県内に700基設

置することを目標にしてい

る。ゼロカーボン実現や観

光客のニーズに応えるため

に国・県と連携した取り組

みをしていく。

【質問】 現在設置されている

充電器は場所がわかりづら

く、野ざらし状態。案内看

# 地域公共交通 中野市との相互乗り入れは

総務課長—ニーズに対応したシステムを検討する

※中野市・山ノ内町  
地域公共交通計画  
の進捗は

町長 8月5日開催の対策  
協議会で計画案を成案とし

た。今後、計画の実現に向  
けて、国・県の支援を受け  
て地域住民、交通事業者等  
との連携により事業を進め  
ていく。

総務課長 既存の幹線およ  
び支線路線の運行維持、運

行改善や新たな公共システ  
ム導入に向けての利用状況  
等の把握、利用者の利便向  
上のための中野市・山ノ内  
町の路線を統合したマップ  
の作成やバス停等の利用環  
境の向上、鉄道やタクシー  
の利用促進などの各種事業  
を本年度から令和8年度の  
5か年にて実施していく。



わたなべ まさお  
渡辺 正男

※中野市・山ノ内町地域公  
共交通計画：中野市と共同  
により、地域の持続可能な  
移動手段の確保や方向性を  
明らかにすることを目的に  
策定した令和4年度から5  
年間の地域公共交通のマス  
タープラン。計画書や策定  
までの経緯については、町  
ホームページ「中野市・山  
ノ内町地域公共交通計画に  
関すること」(下のQRコー  
ドから)をご覧ください。



「複式学級」の良さ？  
南会津町で教育長を  
務める親友の話  
「目からウロコ」だった

渡辺正男のつぶやき

公共交通空白地域  
宇木区をどうするか

質問 7月19日の宇木区で  
の意見交換会の内容は。

総務課長 宇木区長の依頼  
を受け、宇木区役員をはじめ

め地域住民20人の皆さんと  
総務課担当者での意見交換  
会をさせていただいた。「楽  
ちんバスを宇木区でも運行



高齢者にとっては欠かせない公共交通  
(夜間瀬駅楽ちんバス停)

してほしい」「楽ちんバス  
ではなくタクシー券を出し  
てほしい」「何年か後に運  
転できなくなったときのこ  
とを考えると不安である」  
など、様々な意見をいた  
だいた。町としては、その  
意見をどう生かして事業化  
すればいいかを検討するこ  
という旨、説明をした。

質問 楽ちんバス以外の公

公共交通手段の想定は。

総務課長 バスの定期運行  
では利用者ニーズに対応は

難しい。高齢化社会での交  
通弱者への対応という点で  
引き続き、区の皆さんと検  
討していきたい。

中野市との相互乗り  
入れ実現の可能性は

質問 アンケートでの相互  
乗り入れ要望について、中

野は3%しかない。一方、  
山ノ内は30%。北部地域に  
至っては56%だ。両市町で  
温度差があるなかで、実現  
に向けてどう取り組むか。

総務課長 鉄道、路線バス、  
タクシーなどの既存路線の

維持を前提とし、適正、的  
確な価格の設定、ほか地区  
との負担バランス等を考慮  
しながら、利用者ニーズに  
対応できるようシステムの

検討をしていく。

公共交通対策協議会  
町分科会の予定は

質問 山ノ内町分科会の設  
置目的と今後の開催予定は。

副町長 中野市との合同会  
議では、結果として参加す

る委員の数が減り、町で地  
元を知る人たちが意見交換  
する場が少なくなることか  
ら、皆さんの実情を伺いた  
いということがあった。も  
う一つは、公共交通にはこ  
ういうコストがかかっている  
、こういう不具合があるとい  
うことも共有したいと思  
いからだ。

総務課長 12月には、ダイ  
ヤ改正後の楽ちんバスの現

状について検証する場面も  
ある。そこで協議をさせて  
いただければと思っている。



# 総合型地域スポーツクラブの設立予定時期は

教育長—令和6年4月の設立を目標としている



しろとり きんじ  
白鳥 金次

**質問** 総合型地域スポーツクラブを設立する目的は。

**教育長** 地域の子どもから高齢者まで、多世代の人々がいつでもどこでも気軽にスポーツを楽しむことができる環境を提供し、スポーツを通じて地域コミュニティの活性化、また、健康増進をはかり、健康で明るく豊かな生活の実現に貢献するため、総合型地域スポーツクラブを設立することを目的としている。

地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、町ではその体制、環境づくりを含め支援をしていきたいと

考えており、設立準備委員会の事務局として関わっている。

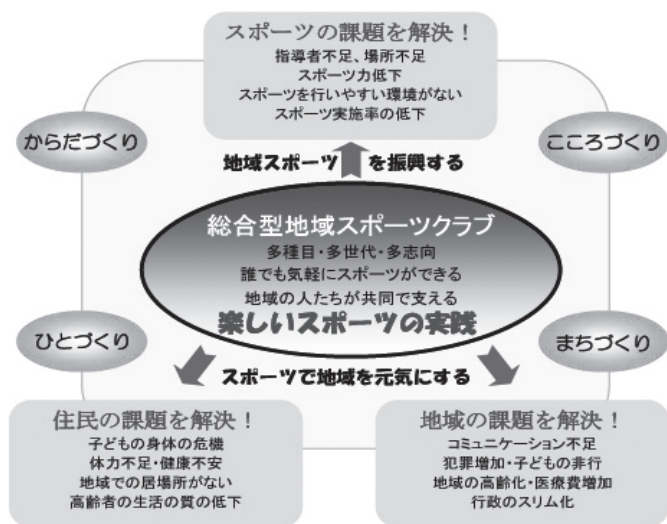
**質問** 総合型地域スポーツクラブが果たす役割は。

**教育長** 地域住民が主体となつて設立、運営をし、小さなお子さんからお年寄りまで、誰もがレベルに合わせてスポーツを通じて交流すること、けがをしない体づくりや健康づくり、また、多世代が交流することで地域づくりや地域コミュニティの推進がはかれると考えている。

**質問** 委員の選任はどのようにされたか。

**教育長** 県教育委員会のア

ドバイスもあり、町体育協会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団等から委員を選任し、今後、中学校部



総合型地域スポーツクラブのイメージ図  
(スポーツ庁ホームページより)

活動の地域移行に關しても協議が必要なことから、校長会を代表し、中学校校長にも参画いただいている。11人でスタートしたが、議論が深まるなかで、適任者を随時追加していきたい。

**質問** このクラブは、子どもたちが小学生から多くのスポーツに関わる、楽しむ場となるのか。

**教育長** 子どもたちが仲間同士で外で遊ぶという機会が最近減ってきていると感じている。いつでもスポーツを楽しむことができるような場やメニュー等を考えていきたい。

## 野生鳥獣被害 防止対策は

**農林課長** 町鳥獣被害防止

秋を代表する  
花言葉  
リンドウ 正義  
キンモクセイ 謙遜  
キク 高貴  
コスモス 調和  
これらの花をロシアの  
彼の人に贈ります

白鳥金次のつぶやき

## ジビエへの 取り組みは

**農林課長** 今のところ、行っていない。ジビエ利用に關してはいろいろな課題があると思われるので、先進地を参考に調査、研究をしていきたいと思っている。

# 町民・観光客のニーズに応じた公共交通を

町長―交通体制の維持と新たな施策を検討する

## 湯田中駅の駅員不在時の対応は

**【質問】** 駅員不在時の対応として、観光連盟移転の費用を、6月議会で補正予算を計上。今後の方向性は。

**【総務課長】** 対策・対応の協議をしたが現在未定である。

**【質問】** 国土交通省の有識者会議で1キロ当たり1日平均利用者1000人未満の区間は今後国が方向性を考えるとのこと。湯田中・中野間において心配はないか。

**【総務課長】** 観光客が戻ればそんな事態にはならない。

## 楽ちんバスおよび観光周遊バスの今後の計画は

**【総務課長】** 楽ちんバスは、利便性などを考慮し、様々な形で運行を検討していく。



とくたけ えいこ  
徳竹 栄子



障がい者も楽しめるデュアルスキー  
(専門機材ライセンス養成講座より)

## コロナ第7波の経済的影響は

観光周遊バスについては今回の計画では言及していないが、生活・観光交通の2つの機能を兼ね備えた公共交通の研究・検討をしている。

**【観光商工課長】** 宿泊に係るキャンセルは約8万人泊に達した。特に志賀・北志賀高原は団体および学習旅行

で相次ぎ、元年度比で50%以下の宿泊施設が多かった。**【質問】** 中小企業融資制度、うちコロナ関係で令和2年度約10億9000万円、令和3年度4億9000万円という融資状況。売上減少や助成金のない中で返済が本格化する。どのような認識か。

**【観光商工課長】** 観光連盟のアンケートでは、今一番困っていることとして、運転資金不足・金融への返済の開始という声が多数あった。

## 観光事業者に支援の継続を

**【町長】** 事業者支援、さらには地域の活性化につながる取り組みを検討していく。

**【観光商工課長】** 秋・冬季の誘客対策として、おもてなし得クーポン券発行や、今後も必要とする支援策について関係団体と相談して検討を進めていく。

**ユニバーサルツーリズムの推進は**

**【観光商工課長】** 学習旅行誘致の一助となり、旅行先の選択肢のひとつにもなる。地域の理解、観光事業者の意識の醸成をはかつていく。講演会や人材育成なども進める。

**【質問】** 障がい者が自然の中でスキー・ウォーキングができる、着座式スキー（デュアルスキー）などの専門機器導入の県補助金の復活が必要と考えるが。

**【町長】** 県知事との政策懇談会で、JT九州本部長が、修学旅行生徒のデュアルスキー対応に感激されたことを報告した。生徒には貴重な体験になると訴え補助制度の復活を要望した。

**【質問】** 死亡率が高く、50代60代に多い、すい臓がんのMRIの検査補助金制度導入を町独自としていかがか。

**【町長】** 厚生労働省の指針である、5種類（胃・肺・大腸・子宮・乳がん）の検診をさらに推進していく。

## すい臓がんの早期発見のために

中野・山ノ内地域公共交通計画は、交通弱者や空白地域住民・観光事業者が切望する交通システムになると期待しよう

徳竹栄子のつぶやき



# 他の自治体と差別化し、とがった政策で人口減に歯止めを

町長——住民と一緒にになって作り、発信することが大切



ゆもとはるひこ  
湯本 晴彦

出生率向上には

**【質問】** 産みやすい環境を整えることがポイントでは。

**健康福祉課長** 不妊症などへの補助、出産祝金、育児支援金など経済的な一助になっている。移住婚という新しい取り組みもしている。

移住による人口増へ

**【質問】** 山ノ内で教育を受けさせるために移住すると思う考えは。

**教育長** スキーをやりたいということでも子どもだけ転入してきた事例はある。研究していければと思う。

**【質問】** 就農移住は思っていない

|           | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 町の合計特殊出生率 | —     | 1.44  | 0.99  |
| 子育て世帯移住者  | 3人    | 2人    | 5人    |
| 就農移住者     | 3人    | 2人    | 5人    |
| テレワーク移住者  | 1人    | 3人    | —     |
| 起業移住者     | —     | 7人    | 2人    |
| 就職・転職移住者  | 10人   | 21人   | 33人   |
| 外国籍移住者    | 274人  | 71人   | 56人   |

今回の質問に対する答弁より

たほどではないが、農林課長 農地の問題がある。

また住宅も借りるところがないという話もある。

**【質問】** テレワーク移住も同様で、住宅や農地の情報整備は。

**移住交流推進室長** 場所の問題だけではないと思う。今後検討・研究していく。

**【質問】** 起業移住はどういう業種が多いか。

**移住交流推進室長** 飲食店が多い。

**【質問】** 町の空き店舗活用補助金は、他の市町村だと10万円単位が多いところを山ノ内は250万円という桁違いで、魅力がある。しっかりと発信してほしい。また、町でお店を出したいと思う人が出てくるためにも町長が行き先を照らしても

らいたい。

**町長** 観光や農業、福祉、教育いろんな面で対策を講じ、国や県や町内の各種団体、いろんな皆さんと意見交換しながら充実できるよううつとめていく。

**【質問】** 就職・転職移住は割り増えている。若者を採用する会社が増えていくことが鍵。それには通年雇用が増やせる事業を支援すべき。公社などが人材を確保し、あっせんするという機能は考えられないか。

**観光商工課長** 農家の人が旅館に行く、旅館の人が農家に手伝いに行くなど、こういう部分に取り組みのもひとつだと思う。

**【質問】** 外国籍の移住者が、驚くべき数字だが、定住に繋がっているのか。

**健康福祉課長** 入ってくる人もいれば時期によつて帰る。出入りが激しい。

**【質問】** いろんな要素で質問したが、要は多くの水路を作り、そのターゲットに対して施策を講ずべき。移住定住で大事なものは、経営者がもっと若者を使った会社作りを進めていくよう推進することでは。

**移住交流推進室長** 専門家も一人来てもらっている。どんな仕事か町に合っているのか考えて事業を展開していくことが重要。

町を自分たちで盛り上げるんだという雰囲気を作りたい！

湯本晴彦のつぶやき

# 中学校の部活動と地域移行は

教育長―地域移行を含めた検討をすすめる

**【質問】** 子どもたちのスポーツを行う場所を創出することは大人の責務と考えるが、町の対応は。

**【教育長】** 中学校の部活の地域移行は国から提言等がされている。今後、県からの提言等を踏まえ、また、アドバイスを得ながら、中学校と情報共有等をはかり、検討をすすめていく。

**【質問】** 中学校の生徒がスポーツを継続するため、地域と一体となった取り組みが必要では。

**【教育長】** 中学校との協議、運営委員会や総合型地域スポーツクラブ準備委員会と協議を促して検討したい。

**【質問】** 中学校の部活動について、「スポーツをしたいが部活動がなくなってしまうのでは」との不安に対し、町としてどのような対応を

するのか。

**【教育次長】** 基本的に今、部活動・部としては6団体。また、大会等において先生

が引率するというクラブ活動もある。なお、教師がすべてを指導するということが

できない状況になってきている。このため、これからは総合型地域スポーツクラブを含め、中学校とも連携して協議をすすめたい。

**【質問】** 平成30年に作成された町スポーツ推進計画にお



練習中の山ノ内中学校野球部

いて、競技スポーツの振興とリーダー育成が基本方針にある。その中で、指導者の育成確保の項目では、中学校の運動部活動の指導者を顧問のほかに地域の人材を確保すると明記されている。指導者の待遇や位置づけ、活動に対し誰がフォローするのか。

**【教育次長】** 来年度からのスポーツ推進計画は本年度に策定予定。指導者の確保は、各市町村も同じ課題がある。県の方針として、現在の課題を把握し、市町村単独でなく、複数の自治体で協議会的な組織を考えている。各市町村ともに人員不足でチーム編成できない、指導者がいないなどの共通課題があり、今後、県の指導を受けて協議をすすめる。

**消防団のホース乾燥場所は**

**【質問】** 現在の使用場所は。

**【消防課長】** 現在、ホースの乾燥塔は金安班、湯田中班および南部コミュニティ消防センターに設置され、それ以外は各班の詰所器具置き場周辺の警鐘楼を使用。

**【質問】** 電動式ホース昇降装置の導入は。

**【消防課長】** ホース乾燥時の高所作業が困難であることから、複数の部からホース乾燥塔設置要望があった。回改革をすすめる中で、作業の負担軽減や安全管理面も重要と考えている。今後、各部・班の意見を踏まえ、手巻き式を含めて検討・調整したい。



つかだ かずお  
塚田 一男

※運営委員会：中学校の部活動について部顧問および郊外指導者などが参画し、検討・協議する委員会。

秋は各神社の祭礼だが、コロナにより縮小での催行。来年こそ、賑やかな太鼓や笛の音色を聴きたい

塚田一男のつぶやき



## 令和3年度一般会計決算

歳入歳出は2年連続で80億円を超える

基金残高は2億7324万円増の26億2366万円

## 8会計決算を認定

令和3年度一般会計ほか7会計の決算は、議会選出の監査委員を除く12人の委員による予算決算審査委員会（委員長Ⅱ徳竹栄子、副委員長Ⅱ山本岩雄）に付託され、9月8～13日（土日を除く）の4日間にわたり、町側の説明および資料の提出を求め、慎重に審査し部会意見を付しました。

本会議での採決結果は、一般会計、国民健康保険・介護保険特別会計は賛成多数（賛成10反対2）、その他5会計は全会一致で認定しました。

※決算の概要は、広報やまのうち9月号をご覧ください。



予算決算審査委員会 全体会議の様子



## 部会意見

## 《共通》

○地域おこし協力隊員が活動しやすく、定住しやすい環境整備にさらにつとめること。

## 第1部会 「一般会計」

## 《総務費》

○地域公共交通システムは、住民ニーズを的確に把握し、検証・検討につとめること。

○目的を明確にしたDX推進に取り組むこと。

## 《農林水産業費》

○雪害対策としての農道除雪は適切な対応につとめること。

## 《商工費》

○ウィズ・アフターコロナに向けて、地域経済の回復と発展につなげること。

## 《土木費》

○新たな空家等対策計画の周知につとめるとともに、有効な運用に万全を期すこと。

○社会体育館は解体に万全を期すとともに、跡地の有効な利活用に向けて取り組むこと。

## 《公営企業会計》

## 《水道事業》

○新東部浄水場の建設と運用には万全を期すこと。

## 第2部会 「一般会計」

## 《民生費》

○結婚活動応援事業は、様々なア



リモートによる婚活事業

イデアを活用し、成果が上がるようにつとめること。

## 《衛生費》

○ヘリカルCTによる肺がん検診をはじめ、各種がん検診は、受診年齢の拡大をはかること。

## 《教育費》

○小学校の統合については、調査結果を踏まえて、ロードマップを明確にすること。

○総合型地域スポーツクラブの設立に向けては、町民の理解を得て、慎重に進めること。

○幼年期からの教育・子育て施策はさらに連携して進めること。

## 《特別会計》

## 《国民健康保険》

○保険者努力支援制度については、評価が上がるようさらに努力すること。

## 一般会計

## 反対討論

渡辺 正男

人件費1億788万円、物件費9877万円（ともに対前年度比8.0%）と大幅に伸びている。事業量の増加もあるが、不安が残る。一方で基金積み立ては5億476万円。期末残高は2億7324万円増の26億2366万円となった。町の財政状況は、コロナ禍と急激な物価高で苦しむ町民の暮らしや生業の現実とはかけ離れた内容。町独自の町民への支援策が本当に充分であったか、疑問が残る。

## 賛成討論

塚田 一男

歳出では、すがかわふれあいセンター整備、新型コロナウイルスワクチン接種をはじめとするコロナウイルス感染症に対応した各種事業ならびに除排雪経費などで大型決算となった。なお、第6次総合計画がスタートし、計画の実現に向け町民と行政が一緒になって取り組む必要がある。については、町民目線に立ち、気を緩めることなく、円滑な事業執行を要望する。

## 総括意見

予算決算審査委員会 委員長 徳竹栄子

令和3年度は、一昨年から続くコロナ禍収束の見通しがたらず、まん延防止等重点措置さらには緊急事態宣言が発令され、不安を抱えたまま新年度がスタートした。

そのような中、7月23日から東京オリンピックが開催された。11月には新たな変異株「オミクロン株」が、世界中に感染拡大した。人流抑制政策などの各種制限による影響は2年連続となり、経済の回復にはまだほど遠い年度であった。

第6次総合計画(令和3年～12年)における前期基本計画(3年～7年)の初年度となる令和3年度一般会計決算規模は、歳入決算額85億2458万円、歳出決算額は、81億9388万円、前年度と比較して歳入額は3億8203万円(4.3%)の減であり、歳出額は、4億986万円(4.8%)の減となった。翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額(実質収支)は、3億993万円となり前年度の実質収支を差し引いた額(単年度収支)は、881万円のプラスとなり昨年度同様黒字となった。

### (歳入)

町税は、固定資産税軽減措置により1億8117万円(11.3%)の

減となった。国庫支出金は特別給付金の影響で9億2973万円(44.1%)の大幅な減となった。

一方、地方譲与税・交付金関係は、地方消費税交付金、地方特例交付金などの増により、総額3億3725万円(90.3%)の増となった。

地方交付税は、普通交付税で3億2014万円の増、特別交付税は、除排雪経費の増などにより9993万円の増となり、総額4億2007万円(16.3%)の増となった。

繰入金は、有線放送電話事業特別会計が、令和3年度末までの会計閉鎖に伴い、剰余金を繰り入れたことにより1億408万円(87.8%)の増となった。

ふるさと納税は、2824万円(9.2%)の増により、3億3650万円で過去最高額となった。

### (歳出)

総務費は、危機管理費の創設、基金積立などが増となったが特別定額給付金事業がなくなったことにより9億7607万円の大幅な減となった。

商工費は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、主な事業として町内宿泊施設におけるクーポン券活用事業、観光地組織維持支

援事業、おみせ応援支援金などを行ったがプレミアム商品券

事業がなくなったことにより1億5634万円の減となった。観光商工事業者への継続的支援策が今後も必要不可欠である。

土木費は、豪雪により除排雪経費の大幅な増、湯田中温泉公園用地購入、本郷区民会館の避難所耐震改修補助などにより3億3454万円の増となった。

教育費は、旧北小学校の面影を残したがかわれあいセンター整備などにより2億3070万円の増となった。

衛生費は、新型コロナウイルス接種に係る事業費などにより9681万円の増となった。

民生費は、住民税非課税世帯及び子育て世帯臨時給付金事業などにより7024万円の増となった。

### (まひめ)

第6次町行政改革の成果として、令和3年度財政健全化判断比率では、実質公債費比率は前年度比0.2ポイント改善し8%、将来負担比率も前年度比15.1ポイントと大きく改善し48.9%となった。また、経常収支比率も前年度より2.1ポイント改善された。

そして、ふるさと基金(寄附分)、財政調整基金などに5億476万円



解体中の社会体育館

を積み立てたが、土地開発基金などで2億3152万円を繰り入れたことから、令和3年度末基金積立残高は前年度比2億7324万円増の26億2366万円となった。

しかし、現在において、町民の生活環境、特に観光商工事業者の経営は、コロナ禍の被害拡大、ロシアのウクライナ侵攻等により原油、原材料価格の高騰などが要因で厳しい状況下に置かれており、さらなる支援が求められている。

第7次町行政改革大綱による行政改革を強力に推進し、今まで以上に町民本位の効率的かつ質の高い行政サービスを行うとともにスリムで効果的な行財政運営を行うことを切望する。

未来にむけて

共に邁進することを胸に

国民健康保険特別会計

### 反対討論

渡辺 正男

歳出の県納付金は4億2766万円を見込み、決算は4億1005万円。歳入の保険税は当初見込みより約2%増の3億3701万円。基金と繰越金の合計は2億8520万円になり、被保険者1人当たり8万5000円以上にもなった。県納付金を2%増しで、保険税は国推奨の97%より低い94.6%で見込む算定方法はやめるべき。高すぎる国保税の負担軽減に本気で取り組むことを要望する。

介護保険特別会計

### 反対討論

渡辺 正男

第8期介護保険計画初年度3年に一度の保険料改定の年だったが、据え置きとした。決算では実質の剰余金である基金と繰越金の合計が538万円増えて、2億6786万円。被保険者1人当たり5万5665円にもなった。それは、皆さんの過大負担分であり、痛みそのものだ。給付に見合う、思い切った保険料減額に踏み込むべきだった。



# 令和3年度一般会計および特別会計

## 総括意見（抜粋）

町の基幹産業である観光は、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、その影響は極めて深刻であり、観光・商工業は引き続き厳しい状況が続いている。このような状況下においてウィズコロナ・アフターコロナに向け、官・民が一体となって再生に取り組むことが望まれる。また、新たな問題として、ウクライナ情勢の長期化・深刻化は、世界経済へ大きな影響をもたらし、原油や原材料価格、流通コスト



すがかわふれあいセンター

## 個別意見

- 1 効率的かつバランスのとれた業務体制確保のため、組織体制の見直しを継続し、計画的な職員採用や、専門職および社会人枠の積極的な採用を行い、適切な人事行政を執行すること。また、職員のハラスメント防止メンタルヘルスの取り組みを積極的に推進されたい。
- 2 第7次行政改革大綱を踏まえ、多様化する行政ニーズや重点施策に対し、限られた人材でも対応できるよう、定型業務や専門業務については、包括業務委託の検討をはじめ、アウトソーシングを積極的に推進されたい。
- 3 行政手続きをはじめとしたデジタル化の推進に向け、各課で十分連携しながら住民サービスの向上と行政事務の効率化を図られたい。
- 4 森林経営管理基金をはじめ、目的基金は積極的に活用し、効率的・効果的運用を推進されたい。
- 5 税・料金等の収納率向上のため、関係課が一層連携しながら対応するほか、滞納整理機構への移管や地方税法の町県民税徴収における特例制度の活用など、より徹底した滞納処分と不納欠損を行われたい。また、コンビニ納付の利用促進に

向け一層のPRに努められたい。

- 6 ウィズコロナ・アフターコロナにおける誘客に向けた環境整備を推進するとともに、豊富な観光資源の有効活用を推進されたい。また、観光プロモーション費用については、観光連盟とのすみ分けまたは一元化など、効果的な運用を図られたい。
- 7 ブランド農業生産振興対策について、新品種導入の研究・栽培に向けた指導体制の充実、補助金の運用を推進されたい。
- 8 空き家対策および移住定住対策について、各課で連携し横断的な取り組みを推進されたい。
- 9 移住・定住の推進に向け、希望者の掘り起こし、田舎暮らしの魅力発信、移住後のサポートをさらに推進されたい。
- 10 婚活事業の充実に向け、移住定住推進室とも連携しながら事業の一層の推進を図られたい。
- 11 若い世代の移住者や人口増に向け、子どもへのサポートだけでなく、育児における相談体制の充実、心身の不安や負担の軽減など、出産や育児に対する支援を一層充実し、積極的にPRされたい。
- 12 災害をはじめとする様々なリスクに備えるため、住民に対する啓発・指導を積極的に行うとともに、自主防災組織へのサポート、災害時要援護者の避難計画の作成を地域住民とともに進められたい。
- 13 消防団の再編に対し、きめ細かなサポートを行うとともに、引き続き団員の確保に努められたい。
- 14 小学校の統合に向け、基本方針の具体化に向け、事業計画（年次目標）を明確にし、検討当初の計画をベラスに見直しを行いながら、町民に丁寧な情報提供し、実現に向け取り組まれたい。

## 令和3年度公営企業会計

### 水道事業

#### 審査意見

ア 新東部浄水場の建設にあたっては竣工に向け、万全を期されたい。  
イ 収納率向上のため、徹底した取り組みをされたい。  
ウ 施設の老朽化に伴い、引き続き計画的な施設更新をされたい。

### 公共下水道事業および農業集落排水事業

#### 審査意見

ア 収納率向上のため、徹底した取り組みをされたい。



建設中の東部浄水場

## 新型コロナウイルス感染症対応支援事業は、関係者への周知につとめ、地域経済の活性化につなげる

### 令和4年度における支援事業

①新型コロナ対応事業者支援給付金（実績：347件 4510万円）※実施済

②観光団体組織維持支援事業（実績：4000万円）※実施済

③おもてなし得得クーポン事業（事業費：4254万円）

※12月1日から3月15日まで（予定）

町内宿泊施設に宿泊した観光客を対象に、町内飲食店、小売店、索道事業所などで利用できるクーポン券を販売します。クーポン券は1冊2000円分で、観光連盟を通じ各宿泊施設にて500円で販売を委託し、発行部数は2万冊となります。

事務取り扱い事業者を商工会とし、町内事業所に対し取り扱い参画の募集をいたします。観光客に対する魅力・お得感を提供するなかで誘客対策につとめるとともに、クーポン券の流通により町内での消費拡大をはかり、事業所等の活性化を推進します。

## 有害鳥獣被害の減少に向け、対策室を設置し効果的に取り組む

対策室の設置は人事案件でもあり現段階では難しい状況ですが、現在2名体制により鳥獣対応を行っています。猟友会協力のもと、6～11月のパトロール実施、出沒による被害調査、檻の設置、情報への対応を随時行っています。

また、地域共同による集団電気柵の原材料支給・維持管理補助や個人電気柵への購入補助を行い侵入防止の強化をはかっています。



## 婚活事業は地域おこし協力隊のアイデアを活用し成果が上がるよう努める

令和3年度から配置した地域おこし協力隊員のアイデアでオンラインの活用や小規模でのイベント、移住婚など従来と変わった目線での取り組みを始めています。

なお、配置先は町社会福祉協議会事務局内として、相互に連携ができる活動しやすい体制にしています。

## 老朽化した危険な廃屋解消に向け、根本的な対策を講じる

令和3年12月に「山ノ内町空家等対策の推進に関する条例」を制定し、道路や人家などに危険が及んでいる空家に対して、町が緊急安全措置できるよう対策を講じました。

また、令和4年度から老朽危険空家所有者の自発的な除却を促す補助制度（上限50万円）を設けました。



令和2年度決算・3年度予算の審査意見に対し町がどう取り組んできたのかを、令和3年度決算審査において現況報告のあった主なものを紹介します。



## 皆さんからの 請願・陳情

| 受理番号    | 件 名                                                | 陳情者                                            | 採決結果                     |
|---------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------|
| 陳情第 3 号 | 女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情                         | 女性スペースを守る会<br>ー LGBT 法案における「性自認」に対し慎重な議論を求める会ー | 趣旨採択<br>賛成 9 人<br>反対 3 人 |
| 陳情第 5 号 | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書               | 中高地区労働組合連合会<br>議 長 大久保 宗一                      | 採択<br>賛成 11 人<br>反対 1 人  |
| 陳情第 6 号 | 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情書   | 長野県教職員組合下高井支部<br>山ノ内単組<br>代表者 宮 澤 聡            | 採択<br>全会一致               |
| 陳情第 7 号 | 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書 | 長野県教職員組合下高井支部<br>山ノ内単組<br>代表者 宮 澤 聡            | 採択<br>全会一致               |

## 議会側からの 発委・発議

|         | 件 名                                                    | 提出者       | 採決結果                    |
|---------|--------------------------------------------------------|-----------|-------------------------|
| 発委第 4 号 | 最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について                       | 総務産業常任委員会 | 可決<br>賛成 11 人<br>反対 1 人 |
| 発委第 5 号 | 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について | 社会文教常任委員会 | 可決<br>全会一致              |
| 発委第 6 号 | 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書の提出について    | 社会文教常任委員会 | 可決<br>全会一致              |

## 議会全員協議会

### 第 9 回（7月11日）

#### (1) 執行機関側からの提出案件

- ① 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について
- ② 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業について

### 第 10 回（9月1日）

#### (1) 執行機関側からの提出案件

- ① 令和 3 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率等について
- ② 第 7 次行政改革大綱実施計画（令和 4 年度版）について
- ③ 職員の定年引上げの概要について

### 第 11 回（9月7日）

#### (1) 議会側からの提出案件

- ① 令和 4 年度長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会の議題提出について

### 第 12 回（9月22日）

#### (1) 執行機関側からの提出案件

- ① 中野市・山ノ内町地域公共交通計画について
- ② 新東部浄水場建設工事進捗状況等について
- ③ 台風 14 号による被害状況について
- ④ 新型コロナウイルス感染者全数把握見直しについて

#### (2) 議会側からの提出案件

- ① 管外視察について
- ② 議会報告会について

# 憩いの場を目指して

今回は、上条地区<sup>こでや</sup>にある「ラベンダー園」をご紹介します。

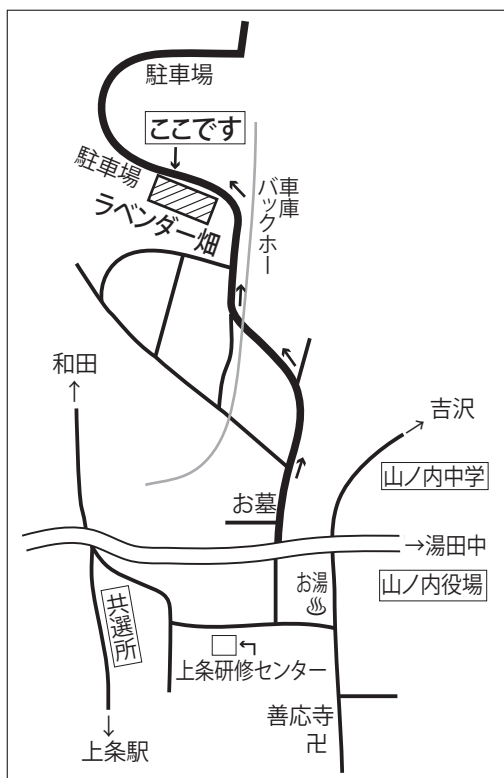


## 心豊かな遊人<sup>ゆうじん</sup>の皆様へ

2004年、熊のねぐらになっていた標高650mの遊休荒廃農地を借り受け、雑草や雑木を掘り起こして、仲間と一緒にラベンダーの苗200株を植え付けました。その苗が結構順調に育ち、借景の北信五岳や北アルプスの力を借りて、北海道の富良野にも負けないぐらい(?)絶景な「小出屋ラベンダー園」が出来上がりました。

今年も通路や土手の草もきれいに刈り取り、年に20日の晴れ姿なのですが、世の中のままならない事情を受け、今年もラベンダー祭りは中止にします。ラベンダー園の一般開放は行いますので密接を避けて、楽しくご利用ください。開放は、令和4年6月25日から7月15日です。花の摘み取りは適度に自由ですので、ハサミをご持参あれ。

園主 笹井昇一、敦子



これは園主が毎年仲間や知り合いに送っているラベンダー祭りの案内です。コロナ感染症拡大防止の観点から今年も祭りは中止になってしまいました。一般開放には県外からの来園者を含め大勢の方々がラベンダー園を楽しまれたようです。

小出屋ラベンダー園は約12アール。北海道から取り寄せた早生種の「濃紫早咲」と、その後には咲く香りの良い「おかむらさき」が100株づつ植えられています。園主の笹井さんは「ただ素晴らしい景観に咲くラベンダーの花を見ながら仲間とお酒を飲むのが一番」とっておられますが、大勢の来園者が楽しんでいるようか。



## 編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」秋のお彼岸も過ぎて朝晩はめっきり寒くなってきました。コロナの感染拡大で中止が続いていた秋のお祭りが3年ぶりに開催されて、賑わいと活気が戻ってきたように感じましたが、台風の影響で途中から雨になり、お練りだけ中止になってしまいました。

秋は台風シーズンでもあります。時々大きな台風がやってきて果樹など農作物に被害が出てしまいます。「自然の摂理に狂いなく」とはよく言われますが、本当にそうでしょうか？近頃大きな災害に見舞われることが多くなったような気がします。風水害、土砂災害、雪害などあらゆる災害から身を守るための諺で「備えあれば憂いなし」。災害が多く発生しがちなこれからの時期、備えをもっと憂いのないようにしたいものです。

(西 宗亮)